

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	つばき児童館放課後児童健全育成事業(生活クラブ)	所管	市民経済部 つばき児童館
			TEL 2923-6155

事業の目的 (何の為に 行うか)	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に所沢市立児童館を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	生活クラブ入会申込書提出児童数(1年生～6年生)	対象とした数	70
		実際に 利用した数	58

活動の内容	(何を したか)	定員 48名 開設時間 学校開校日(来館～午後6時30分) 休校日(午前8時15分～午後6時30分) 休業日 日曜・国民の祝日・12月29日～1月3日 内容 生活指導・遊びの補助・環境学習・誕生会等の行事 保育料 6000円/人								
		活動実績	項目名	開館日数	294	項目名	出席者数	8509	項目名	入会者数
				----- 単位 日			----- 単位 人			----- 単位 %

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	3,899	2,521	18,491	54.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	平均出席者数	年間出席者数/開館日数	30.6	28.9	94.4
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕					終了
		予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	担当	部課コード	031104	TEL	2923-6155
事業コード	030907	つばき児童館放課後児童健全育成事業(生活クラブ)	市民経済部	つばき児童館	
開始年度	昭和 56 年度	—	終了年度	平成 年度	
担当部課	グループ	児童育成グループ			

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市児童育成環境整備計画(所沢エンゼルプラン)・所沢市次世代育成支援行動計画			児童福祉法・所沢市立児童館設置及び管理条例・同施行規則	
	関連・類似事業	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)				
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	
			中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱	(2)放課後児童の健全育成
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
	事業開始の背景	都市化の進展や核家族化の進行、更に女性の社会進出などに伴い、留守家庭児童の健全育成に対する支援や諸問題に対処するため、昭和56年度より児童館事業の一つとして生活クラブ事業を開始した。つばき児童館は、昭和56年度より事業を開始している。				

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に所沢市立児童館を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とする。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方			
	生活クラブ入会申込書提出児童数(1年生～6年生)	生活クラブ入会決定児童数			
	対象数	単位	平成 18 年度	53	平成 18 年度
		平成 19 年度	70	平成 19 年度	58
	事業の具体的な内容及び実施方法				
	定員	48名			
	開設時間	学校開校日(来館～午後6時30分) 休校日(午前8時15分～午後6時30分)			
	休業日	日曜・国民の祝日・12月29日～1月3日			
	内容	生活指導・遊びの補助・環境学習・誕生会等の行事			
	保育料	6000円/人			

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	平成19年度中に改善した点				
	入会待機児童に対し、夏休み期間のみ一時的に入会できる制度を試行した。所沢市立児童館生活クラブ事業運用基準内に入会優先順位について再検討した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		4,438	3,899	3,989
	決算(見込み含む)		3,497	2,521	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 )	( 6.00 人 )	( 人 )	( 6.00 人 )
	正規職員人件費	2.05 人	18,860	1.70 人	15,970
	公債費				
	事業費合計		22,357	18,491	
	財源内訳	一般財源	17,763	13,324	-1,222
		国・県支出金	2,025	2,426	2,529
		受益者負担金	2,569	2,741	2,682
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	66.2	54.5		
	利用数一単位あたり(単位:円)	429,942.3	318,806.9		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	開館日数	開館日数	日	297	294	293	293
		出席者数	年間延べ人数	人	7709	8509	9800	10000
		入会者数	入会者数/定員	%	108	100	100	100
成果分析	平均出席者数	年間出席者数/開館日数	人	目標値	24	30.6	33.4	34.1
			%	実績	26.2	28.9	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	109.2	94.4		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	保護者の就労等の状況により、児童館生活クラブへの入会希望者が増えている。生活クラブには、保育環境を維持するため定員制を設けており、年々入会できない待機児童が生じている。		
評価	今期目標項目(何を)	児童の健全育成	達成水準(どこまで)	適切な遊び及び生活の場を提供する
	平成20年度における目標設定		時期(いつまで)	年度末
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	保護者が、就労等により家庭にいない児童に適正な遊びと生活の場を提供して、児童の健全育成をさらに推進していく。		
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	館長 高見澤 祥子

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	事前評価	部内優先順位… 18 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	評価理由	「児童クラブ」に比較し直営での事業となるが、放課後子ども支援の基幹的な事業でもあり、臨職による体制を維持しつつ活動を継続していくために「引き続き実施」と評価した。				
	優先度評価	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
	評価日	9月1日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2221
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
	主要課題	2仕事と子育ての両立の推進		
	施策の方向	2放課後の子どもたちに対応した支援の充実		